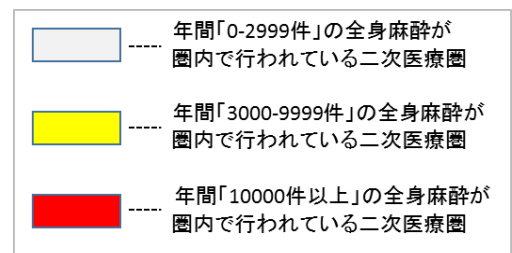
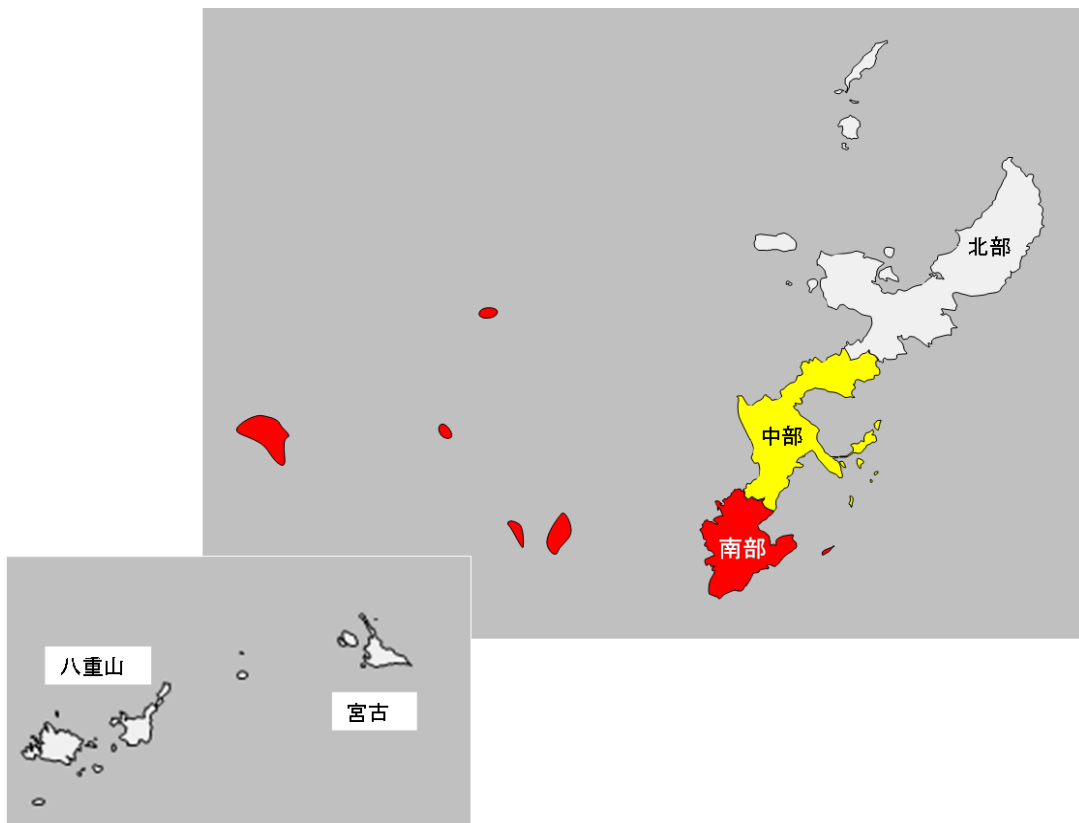


47. 沖縄県

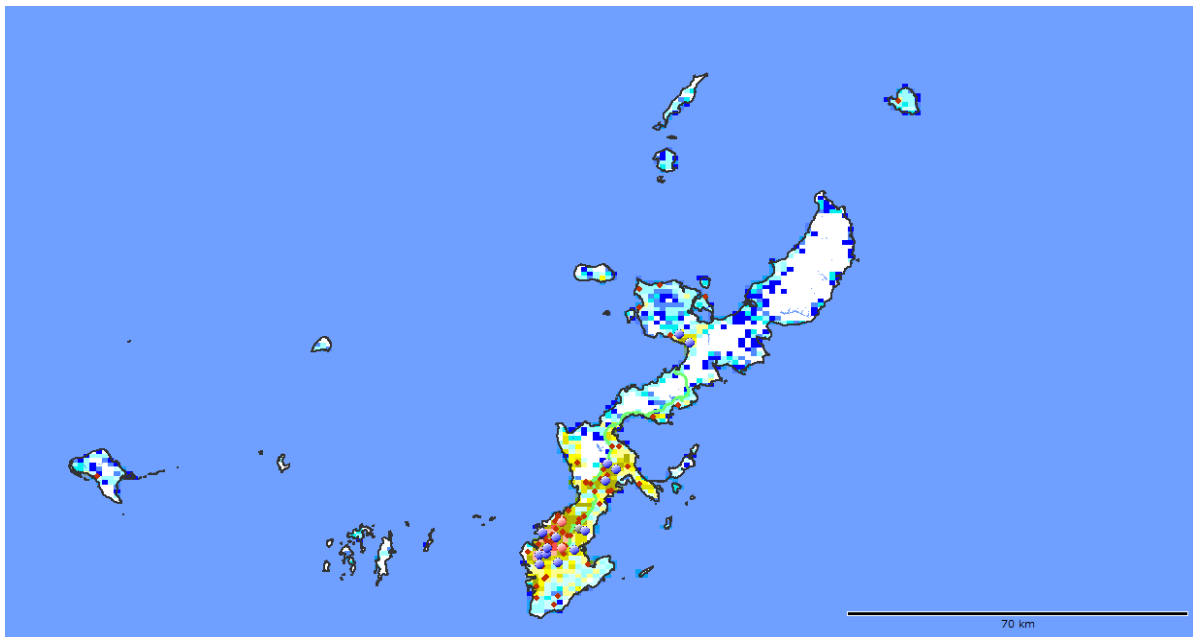


目次

沖縄県	47	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	47	-	8
1. 北部医療圏	47	-	20
2. 中部医療圏	47	-	25
3. 南部医療圏	47	-	30
4. 宮古医療圏	47	-	35
5. 八重山医療圏	47	-	40

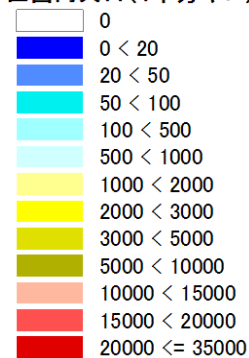
47. 沖縄県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(沖縄県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 沖縄県は、総人口約1,434千人(2015年)、面積2,281km²、人口密度は628人/km²である。

*人口の将来予測： 沖縄県の総人口は2025年に1,468千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に1,452千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の145千人が、2025年にかけて184千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には247千人へと増加する(2025年比+34%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 沖縄県の一人当たり医療費(国保)は314千円(偏差値40)、介護給付費は298千円(偏差値63)であり、医療費は低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 沖縄県の一人当たり急性期医療密度指数は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数は1.14で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数52、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 沖縄県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13,193人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が8,564床(偏差値48)、高齢者住宅等が4,629床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,249人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム43、軽費ホーム50、グループホーム39、サ高住53である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,544人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-36%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

沖縄県の総人口は、2005年1,361,594人が、2015年に1,433,566人と5%増加し、2025年の人口が1,468,236人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

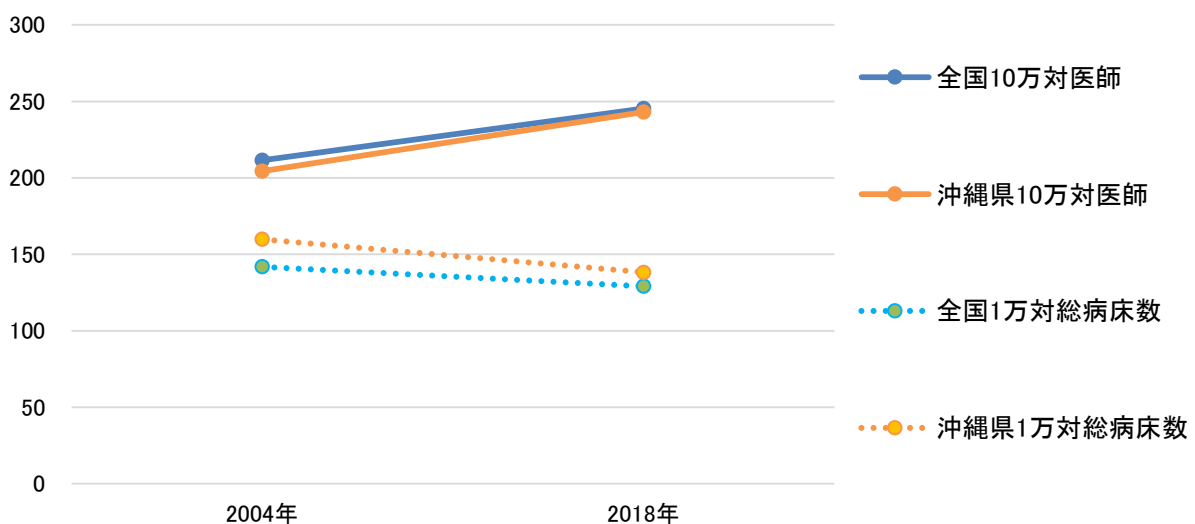
2004年の病院数が95(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2018年に93(人口10万人当たり6.5病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が745(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2018年に894(人口10万人当たり62診療所(全国平均80)偏差値41)と、149診療所が増加した。

2004年の総病床数が21,768床(人口1万人当たり160(全国平均142)偏差値53)であったが、2018年に19,814床(人口1万人当たり138(全国平均129)偏差値52)と、1,954床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

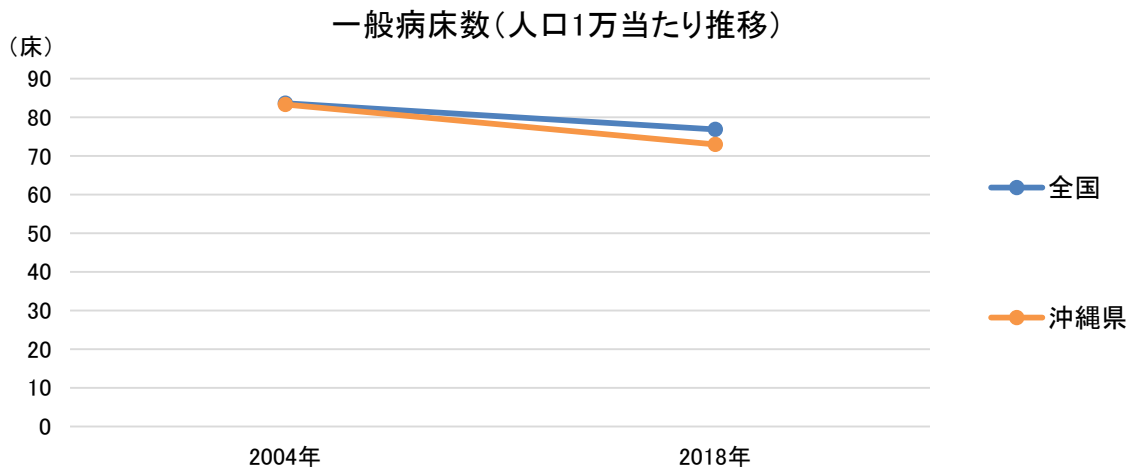
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,784人(人口10万人当たり204人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2018年に3,485人(人口10万人当たり243人(全国平均245人)偏差値50)と、701人の増加、率にして25%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



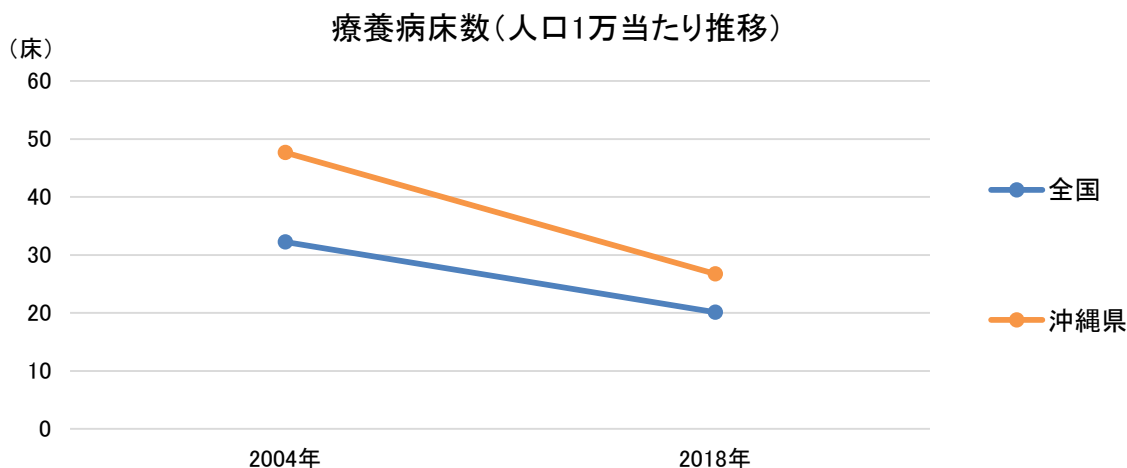
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11,344床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2018年に10,461床(人口1万人当たり73(全国平均77)偏差値48)と、883床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



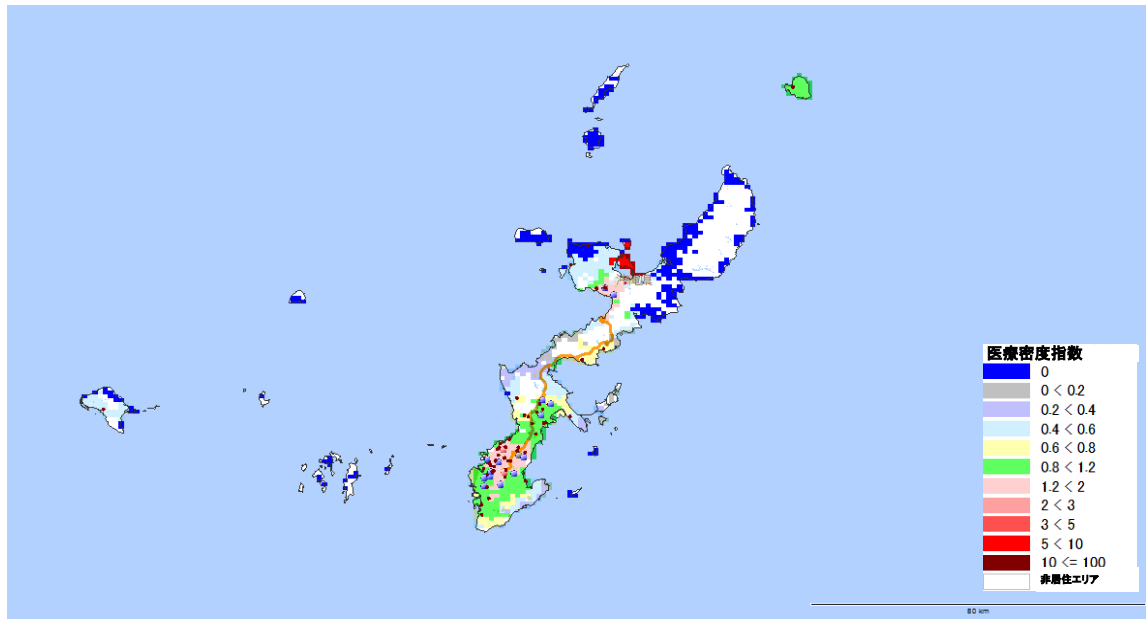
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4,645床(75歳以上1,000人当たり48(全国平均32)偏差値59)であったが、2018年に3,881床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均20)偏差値56)と、764床の減少、率にして16%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



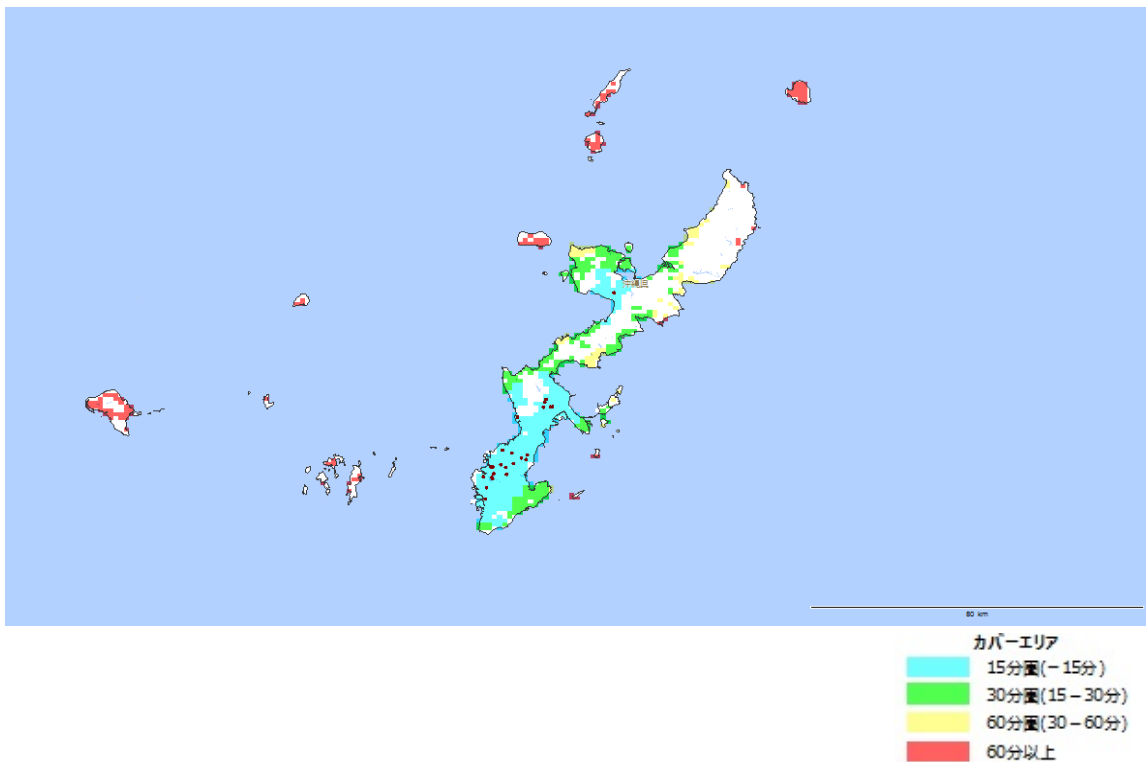
(沖縄県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表47-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 47-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
沖縄県	1,434	25位	2,281	44位	628.5		20%	1,468	1,452	145	184	247	2%	-1%	27%	34%
北部	101	7%	705	31%	143.8	過疎地域型	23%	100	95	13	15	21	-1%	-5%	15%	40%
中部	499	35%	368	16%	1,356.4	地方都市型	19%	522	528	48	63	85	5%	1%	31%	35%
南部	727	51%	389	17%	1,870.9	地方都市型	19%	744	733	71	92	122	2%	-1%	30%	33%
宮古	52	4%	226	10%	231.6	地方都市型	25%	49	44	7	8	10	-6%	-10%	14%	25%
八重山	53	4%	593	26%	90.1	過疎地域型	19%	53	52	5	6	9	0%	-2%	20%	50%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 47-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
沖縄県	1.07	1.14	10,848	14,761	-36.1%
北部	0.88	0.98	1,105	1,261	-14.1%
中部	0.97	1.81	3,533	4,927	-39.5%
南部	1.16	0.74	5,155	7,431	-44.1%
宮古	1.39	1.39	588	609	-3.6%
八重山	0.67	0.67	467	533	-14.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 47-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
沖縄県	314	40	1.086	145	52	1.297	151	26	0.971	298	63
北部	352	49	1.114	174	61	1.412	160	32	0.944	292	61
中部	288	35	1.003	130	47	1.166	142	21	0.914	293	61
南部	337	46	1.114	159	57	1.354	159	31	0.979	294	62
宮古	269	30	0.846	115	42	0.926	136	18	0.798	379	86
八重山	268	30	0.920	117	43	1.041	136	18	0.871	309	66
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 47-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
沖縄県	1,009	57	1.097	601	64	1.294	384	38	0.914
北部	1,066	61	1.127	646	68	1.308	397	42	0.947
中部	979	54	1.067	591	63	1.279	365	33	0.865
南部	1,044	60	1.144	619	65	1.351	399	42	0.951
宮古	828	42	0.887	460	49	0.955	347	29	0.830
八重山	937	51	1.008	529	56	1.107	390	40	0.933
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 47-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
沖縄県	93	1.1%	6.5	50	894	0.9%	62	41
北部	10	11%	9.9	58	63	7%	62	40
中部	29	31%	5.8	48	239	27%	48	33
南部	47	51%	6.5	50	518	58%	71	45
宮古	4	4%	7.6	53	35	4%	67	43
八重山	3	3%	5.6	48	39	4%	73	46
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 47-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
沖縄県	894	0.9%	62	41	822	0.9%	57	41	72	1.0%	5.0	49
北部	63	7%	62	40	59	7%	58	41	4	6%	3.9	47
中部	239	27%	48	33	221	27%	44	34	18	25%	3.6	47
南部	518	58%	71	45	477	58%	66	45	41	57%	5.6	50
宮古	35	4%	67	43	29	4%	55	40	6	8%	11.5	60
八重山	39	4%	73	46	36	4%	67	46	3	4%	5.6	50
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 47-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
沖縄県	18,862	1.2%	1,316	52	952	1.0%	66	49	19,814	1.2%	1,382	52
北部	1,895	10%	1,868	64	43	5%	42	46	1,938	10%	1,910	62
中部	5,960	32%	1,194	50	219	23%	44	47	6,179	31%	1,238	49
南部	9,740	52%	1,339	53	580	61%	80	51	10,320	52%	1,419	52
宮古	758	4%	1,447	55	86	9%	164	60	844	4%	1,611	56
八重山	509	3%	953	44	24	3%	45	47	533	3%	998	44
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 47-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
沖縄県	9,621	1.1%	671	49	3,769	1.2%	263	51	5,386	1.6%	376	56
北部	1,060	11%	1,045	65	496	13%	489	62	337	6%	332	53
中部	2,666	28%	534	43	1,386	37%	278	51	1,859	35%	373	55
南部	5,046	52%	694	50	1,583	42%	218	48	3,091	57%	425	58
宮古	487	5%	930	60	216	6%	412	58	49	1%	94	42
八重山	362	4%	678	49	88	2%	165	46	50	1%	94	42
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 47-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
沖縄県	1,352	1.7%	94	57	590	0.7%	41	47
北部	154	11%	152	69	50	8%	49	48
中部	584	43%	117	62	218	37%	44	47
南部	570	42%	78	53	293	50%	40	47
宮古	0	0%	0	36	20	3%	38	47
八重山	44	3%	82	54	9	2%	17	44
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 47-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
沖縄県	4,891	4,116	0	13,859	5,410	3,804	43.2%	50	0.0%	48
北部	746	744	0	1,149	316	496	70.2%	60	0.0%	48
中部	1,275	915	0	4,689	1,770	1,386	34.1%	46	0.0%	48
南部	2,125	1,814	0	7,547	3,154	1,618	36.5%	47	0.0%	48
宮古	443	388	0	315	99	216	79.7%	63	0.0%	48
八重山	302	255	0	159	71	88	78.2%	63	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 47-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
沖縄県	23,160	1.0%	1,616	48	13,704	1.5%	956	59
北部	1,176	5%	1,159	43	720	5%	710	49
中部	7,440	32%	1,491	47	4,908	36%	984	60
南部	14,040	61%	1,930	52	6,912	50%	950	58
宮古	216	1%	412	34	612	4%	1,168	67
八重山	288	1%	539	35	552	4%	1,034	62
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 47-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
沖縄県	3,485	1.1%	243	50	2,519	1.2%	176	52	966	0.9%	67	44
北部	188	5%	185	43	135	5%	133	46	53	5%	52	38
中部	980	28%	196	45	699	28%	140	47	281	29%	56	39
南部	2,139	61%	294	55	1,568	62%	216	57	571	59%	79	49
宮古	88	3%	168	42	60	2%	115	43	28	3%	53	38
八重山	90	3%	169	42	57	2%	107	42	33	3%	62	42
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 47-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
沖縄県	300	1.0%	20.9	48	182	1.3%	12.7	53	140	1.2%	9.8	52
北部	11	4%	10.8	39	7	4%	6.9	42	5	4%	4.9	40
中部	89	30%	17.8	46	45	25%	9.0	46	40	29%	8.0	48
南部	183	61%	25.2	52	121	66%	16.6	62	87	62%	12.0	58
宮古	8	3%	15.3	43	2	1%	3.8	35	4	3%	7.6	47
八重山	9	3%	16.9	45	7	4%	13.1	54	4	3%	7.5	47
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 47-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
沖縄県	46	0.8%	3.2	44	92	0.9%	6.4	46	67	0.9%	4.7	45
北部	5	11%	4.9	52	5	5%	4.9	41	3	4%	3.0	39
中部	8	17%	1.6	37	24	26%	4.8	41	16	24%	3.2	40
南部	31	67%	4.3	49	55	60%	7.6	49	44	66%	6.0	50
宮古	2	4%	3.8	47	5	5%	9.5	55	1	1%	1.9	35
八重山	0	0%	0	30	3	3%	5.6	43	3	4%	5.6	49
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 47-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
沖縄県	151	1.6%	10.5	58	231	1.1%	16.1	48	169	1.0%	11.8	47
北部	9	6%	8.9	53	18	8%	17.7	51	6	4%	5.9	34
中部	46	30%	9.2	54	58	25%	11.6	42	41	24%	8.2	39
南部	94	62%	12.9	64	143	62%	19.7	53	114	67%	15.7	55
宮古	1	1%	1.9	35	6	3%	11.5	42	3	2%	5.7	34
八重山	1	1%	1.9	34	6	3%	11.2	41	5	3%	9.4	42
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 47-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
沖縄県	51	0.8%	3.6	44	63	0.9%	4.4	46	56	0.9%	3.9	48
北部	1	2%	1.0	32	4	6%	3.9	44	5	9%	4.9	51
中部	12	24%	2.4	39	13	21%	2.6	38	13	23%	2.6	43
南部	35	69%	4.8	50	41	65%	5.6	51	36	64%	4.9	51
宮古	2	4%	3.8	45	3	5%	5.7	51	1	2%	1.9	41
八重山	1	2%	1.9	36	2	3%	3.7	43	1	2%	1.9	41
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 47-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
沖縄県	98	1.3%	6.8	53	25	1.5%	1.7	54	94	2.2%	6.6	65
北部	4	4%	3.9	44	2	8%	2.0	57	5	5%	4.9	57
中部	19	19%	3.8	44	7	28%	1.4	51	25	27%	5.0	58
南部	69	70%	9.5	61	15	60%	2.1	58	54	57%	7.4	69
宮古	2	2%	3.8	44	1	4%	1.9	56	5	5%	9.5	79
八重山	4	4%	7.5	55	0	0%	0	37	5	5%	9.4	78
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 47-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
沖縄県	24	1.1%	1.7	49	36	1.3%	2.5	52
北部	2	8%	2.0	52	0	0%	0	35
中部	8	33%	1.6	49	12	33%	2.4	52
南部	13	54%	1.8	50	20	56%	2.7	54
宮古	1	4%	1.9	51	2	6%	3.8	61
八重山	0	0%	0	36	2	6%	3.7	61
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 47-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
沖縄県	15,357	1.3%	1,071	56	12,624	1.4%	881	56	2,733	1.2%	191	52
北部	1,165	8%	1,148	59	979	8%	965	60	186	7%	183	51
中部	4,790	31%	960	52	3,966	31%	795	53	824	30%	165	48
南部	8,504	55%	1,169	59	7,004	55%	963	60	1,500	55%	206	54
宮古	456	3%	870	49	352	3%	672	48	104	4%	198	53
八重山	442	3%	828	47	324	3%	606	45	119	4%	222	56
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 47-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
沖縄県	2,278	1.6%	159	59	2,259	0.7%	158	42
北部	188	8%	186	63	110	5%	108	37
中部	803	35%	161	59	616	27%	123	38
南部	1,207	53%	166	60	1,413	63%	194	45
宮古	34	1%	65	42	51	2%	97	36
八重山	46	2%	86	46	69	3%	129	39
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 47-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
沖縄県	91	0.6%	0.6	44	17	1.1%	0.1	54	99	0.9%	0.7	49
北部	6	7%	0.5	41	1	6%	0.1	48	7	7%	0.5	43
中部	22	24%	0.5	40	5	29%	0.1	52	34	34%	0.7	50
南部	54	59%	0.8	47	11	65%	0.2	59	47	47%	0.7	48
宮古	7	8%	0.9	51	0	0%	0	37	5	5%	0.7	48
八重山	2	2%	0.4	38	0	0%	0	37	6	6%	1.1	68
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 47-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
沖縄県	13,193	0.8%	91	41	8,564	0.9%	59	48	4,629	0.6%	32	42
北部	1,220	9%	95	44	997	12%	78	63	223	5%	17	33
中部	4,373	33%	90	41	2,879	34%	59	48	1,494	32%	31	42
南部	6,485	49%	91	42	3,882	45%	55	44	2,603	56%	37	45
宮古	588	4%	79	34	420	5%	56	46	168	4%	22	37
八重山	527	4%	99	46	386	5%	72	59	141	3%	26	39
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 47-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
沖縄県	3,760	1.0%	26	56	4,549	0.8%	31	45	255	0.5%	1.8	46
北部	350	9%	27	58	559	12%	44	58	88	35%	6.9	60
中部	1,100	29%	23	50	1,681	37%	35	49	98	38%	2.0	47
南部	1,974	53%	28	59	1,839	40%	26	40	69	27%	1.0	44
宮古	180	5%	24	53	240	5%	32	46	0	0%	0	42
八重山	156	4%	29	61	230	5%	43	57	0	0%	0	42
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
沖縄県	1,002	0.4%	6.9	43	225	1.0%	1.5	50	915	0.4%	6.3	39
北部	0	0%	0	36	0	0%	0	43	108	12%	8.4	43
中部	223	22%	4.6	41	80	36%	1.7	51	294	32%	6.1	39
南部	715	71%	10.0	46	100	44%	1.4	50	423	46%	5.9	38
宮古	64	6%	8.6	44	0	0%	0	43	54	6%	7.2	41
八重山	0	0%	0	36	45	20%	8.4	83	36	4%	6.7	40
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定施設)	サ高住(特定施設)			サ高住 (非特定施設)	サ高住(非特定施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)	
沖縄県	2,487	1.0%	17.1	53	142	0.5%	1.0	47	2,345	1.1%	16.1	54	
北部	115	5%	9.0	42	0	0%	0	42	115	5%	9.0	44	
中部	897	36%	18.5	55	57	40%	1.2	48	840	36%	17.3	55	
南部	1,365	55%	19.2	56	35	25%	0.5	44	1,330	57%	18.7	57	
宮古	50	2%	6.7	39	50	35%	6.7	76	0	0%	0	31	
八重山	60	2%	11.2	45	0	0%	0	42	60	3%	11.2	47	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの					令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 47-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差				
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
沖縄県	1,371	0.8%	9.4	44	909	0.8%	6.3	44	463	0.8%	3.2	48
北部	124	9%	9.7	45	95	10%	7.4	51	28	6%	2.2	40
中部	429	31%	8.9	42	278	31%	5.7	42	151	33%	3.1	47
南部	691	50%	9.7	45	442	49%	6.2	44	250	54%	3.5	51
宮古	70	5%	9.4	44	49	5%	6.6	46	21	5%	2.8	45
八重山	56	4%	10.5	49	44	5%	8.2	55	13	3%	2.4	41
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
沖縄県	14,793	1.0%	102	58	13,249	1.0%	91	61	1,544	0.7%	10.6	45
北部	1,338	9%	104	60	1,154	9%	90	60	185	12%	14.4	52
中部	5,057	34%	104	60	4,543	34%	94	64	514	33%	10.6	45
南部	6,956	47%	98	54	6,405	48%	90	60	551	36%	7.7	39
宮古	850	6%	114	69	613	5%	82	53	237	15%	31.7	84
八重山	591	4%	111	66	534	4%	100	69	57	4%	10.7	45
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
沖縄県	7,928	0.6%	55	44	2,336	0.4%	16	37	5,942	0.5%	41	38
北部	285	4%	22	35	284	12%	22	42	693	12%	54	44
中部	1,334	17%	28	36	625	27%	13	35	1,964	33%	41	38
南部	5,299	67%	74	50	1,158	50%	16	37	2,418	41%	34	35
宮古	877	11%	117	62	145	6%	19	40	680	11%	91	60
八重山	133	2%	25	36	124	5%	23	42	187	3%	35	36
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
沖縄県		1,361,594	1,433,566	5%	1,468,236	8%	15%	12%	28%
北部	過疎地域型	102,483	101,444	-1%	99,960	-2%	5%	9%	15%
中部	地方都市型	464,371	499,000	7%	521,685	12%	18%	14%	34%
南部	地方都市型	688,706	727,337	6%	743,849	8%	16%	12%	29%
宮古	地方都市型	54,863	52,380	-5%	49,319	-10%	0%	3%	4%
八重山	過疎地域型	51,171	53,405	4%	53,423	4%	9%	9%	19%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 47-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
沖縄県	95	7.0	50	93	6.5	50	-2	-2%
北部	9	8.8	54	10	9.9	58	1	11%
中部	29	6.2	48	29	5.8	48	0	0%
南部	50	7.3	50	47	6.5	50	-3	-6%
宮古	4	7.3	50	4	7.6	53	0	0%
八重山	3	5.9	47	3	5.6	48	0	0%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 47-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
沖縄県	745	55	39	894	62	41	149	20%
北部	60	59	41	63	62	40	3	5%
中部	194	42	33	239	48	33	45	23%
南部	423	61	43	518	71	45	95	22%
宮古	35	64	44	35	67	43	0	0%
八重山	33	64	44	39	73	46	6	18%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 47-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
沖縄県	2,784	204	49	3,485	243	50	701	25%
北部	172	168	45	188	185	43	16	9%
中部	742	160	44	980	196	45	238	32%
南部	1,695	246	54	2,139	294	55	444	26%
宮古	91	166	45	88	168	42	-3	-3%
八重山	84	164	44	90	169	42	6	7%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 47-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
沖縄県	21,768	160	53	19,814	138	52	-1,954	-9%
北部	2,338	228	65	1,938	191	62	-400	-17%
中部	6,393	138	49	6,179	124	49	-214	-3%
南部	11,360	165	54	10,320	142	52	-1,040	-9%
宮古	1,116	203	61	844	161	56	-272	-24%
八重山	561	110	44	533	100	44	-28	-5%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 47-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
沖縄県	11,344	83	50	10,461	73	48	-883	-8%
北部	1,407	137	69	1,103	109	62	-304	-22%
中部	2,938	63	43	2,858	57	42	-80	-3%
南部	5,820	85	50	5,551	76	50	-269	-5%
宮古	765	139	70	563	107	62	-202	-26%
八重山	414	81	49	386	72	48	-28	-7%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 47-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

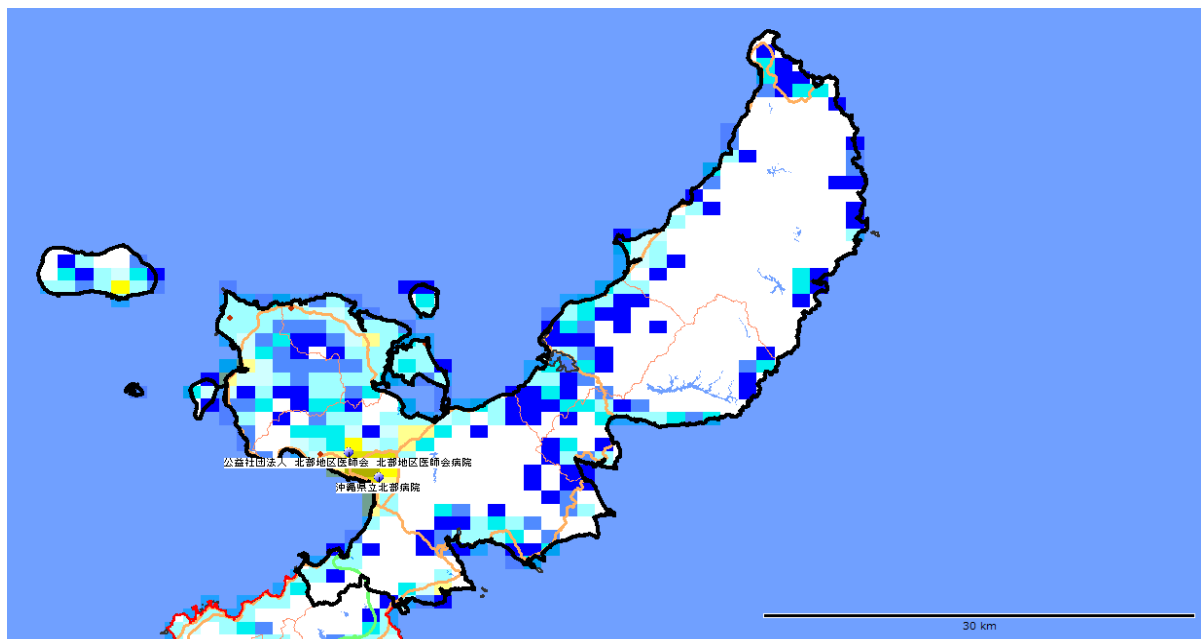
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
沖縄県	4,645	48	59	3,881	27	56	-764	-16%
北部	496	45	57	496	39	67	0	0%
中部	1,468	49	60	1,413	29	58	-55	-4%
南部	2,352	52	61	1,658	23	53	-694	-30%
宮古	241	37	53	226	30	59	-15	-6%
八重山	88	20	43	88	16	47	0	0%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

47-1. ほくぶ北部医療圏

構成市区町村 [名護市](#) [国頭村](#) [大宜味村](#) [東村](#)
[今帰仁村](#) [本部町](#) [伊江村](#) [伊平屋村](#)
[伊是名村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(名護市)は、総人口約101千人(2015年)、面積705km²、人口密度は144人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に100千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に95千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて15千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には21千人へと増加する(2025年比+40%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値49)、介護給付費は292千円(偏差値61)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.88、一人当たり慢性期医療密度指数は0.98で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数46、診療所医師数38)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の沖縄県立北部病院(Ⅲ群)、北部地区医師会病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値69と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,220人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が997床(偏差値63)、高齢者住宅等が223床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,154人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設60、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、185人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年102,483人が、2015年に101,444人と1%減少し、2025年の人口が99,960人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

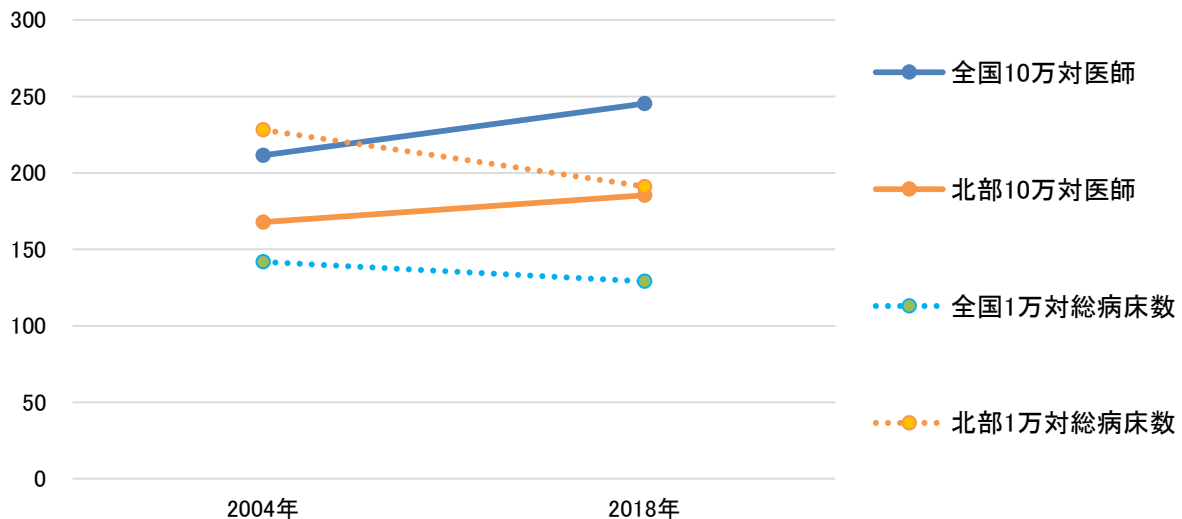
2004年の病院数が9(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2018年に10(人口10万人当たり9.9病院(全国平均6.6)偏差値58)となり、14年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が60(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2018年に63(人口10万人当たり62診療所(全国平均80)偏差値40)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,338床(人口1万人当たり228(全国平均142)偏差値65)であったが、2018年に1,938床(人口1万人当たり191(全国平均129)偏差値62)と、400床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

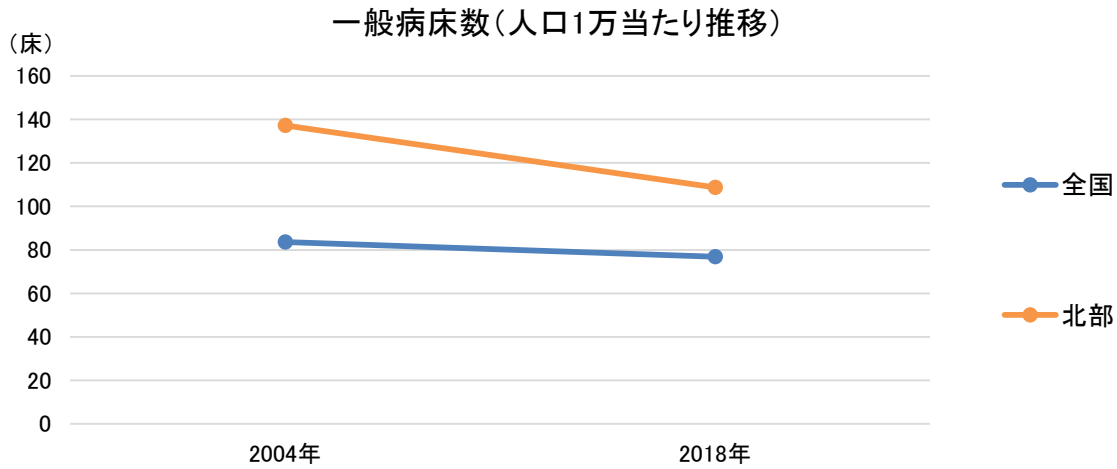
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が172人(人口10万人当たり168人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に188人(人口10万人当たり185人(全国平均245人)偏差値43)と、16人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



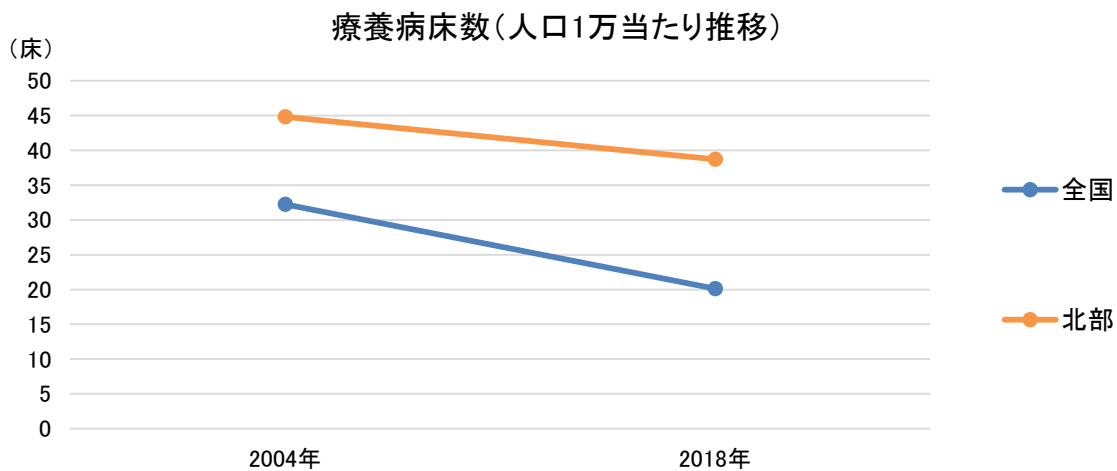
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,407床(人口1万人当たり137(全国平均84)偏差値69)であったが、2018年に1,103床(人口1万人当たり109(全国平均77)偏差値62)と、304床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



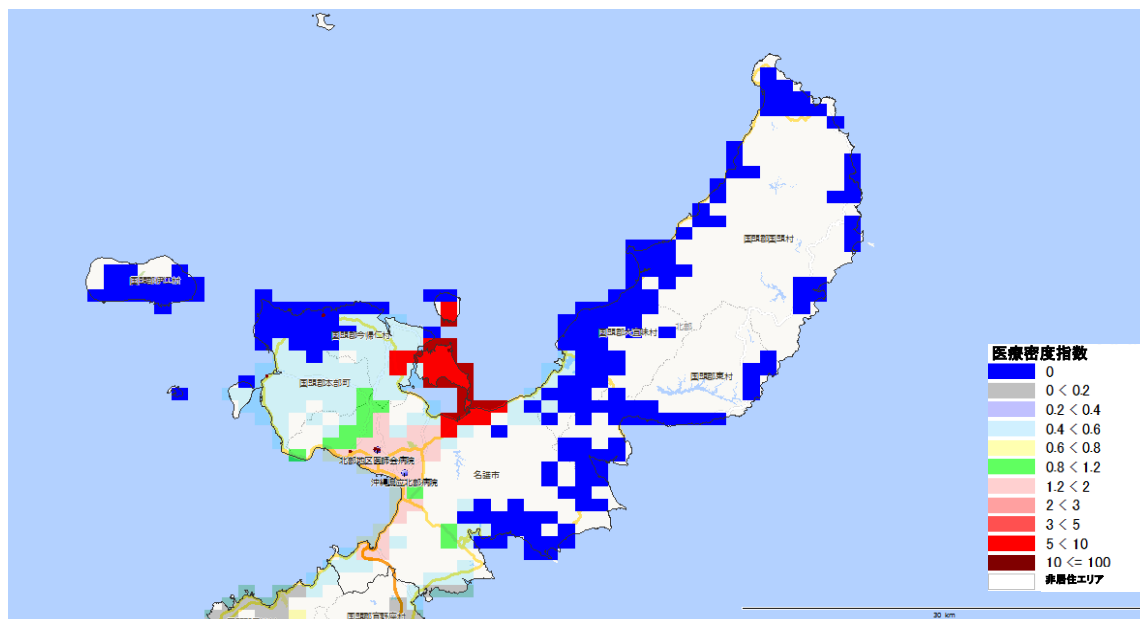
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が496床(75歳以上1,000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2018年に496床(75歳以上1,000人当たり39(全国平均20)偏差値67)と、増減がなかった(全国平均12%の減少)。



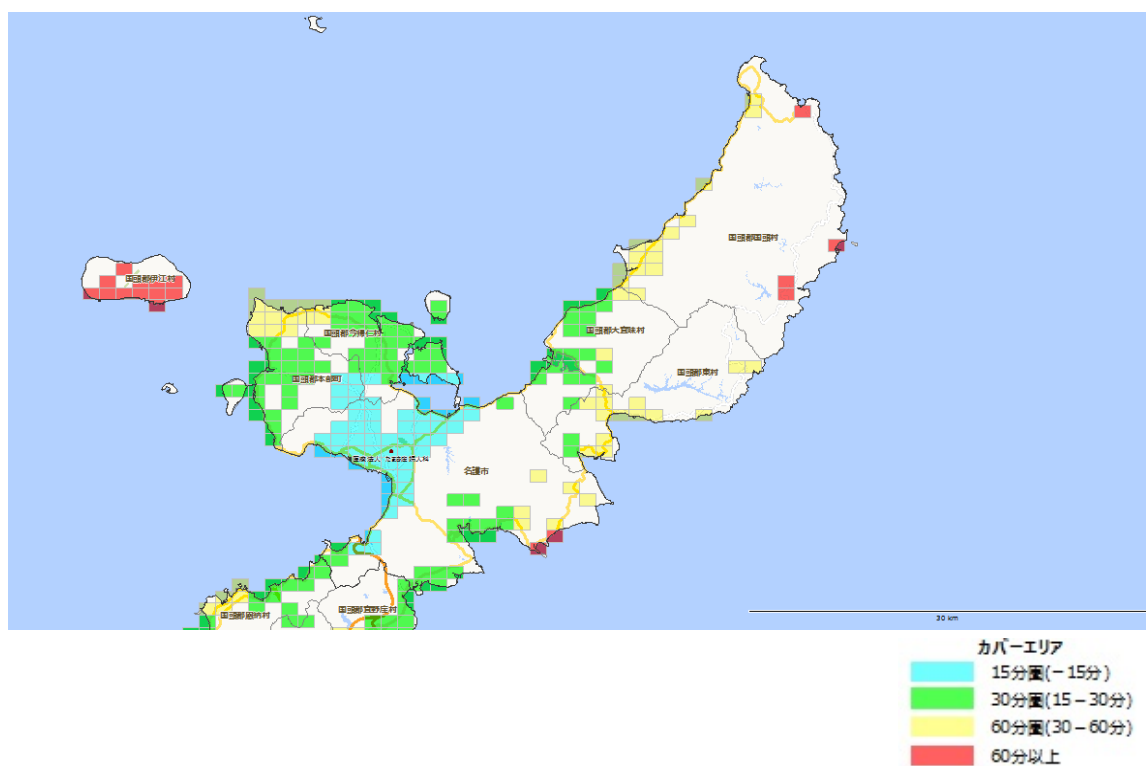
(北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表47-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

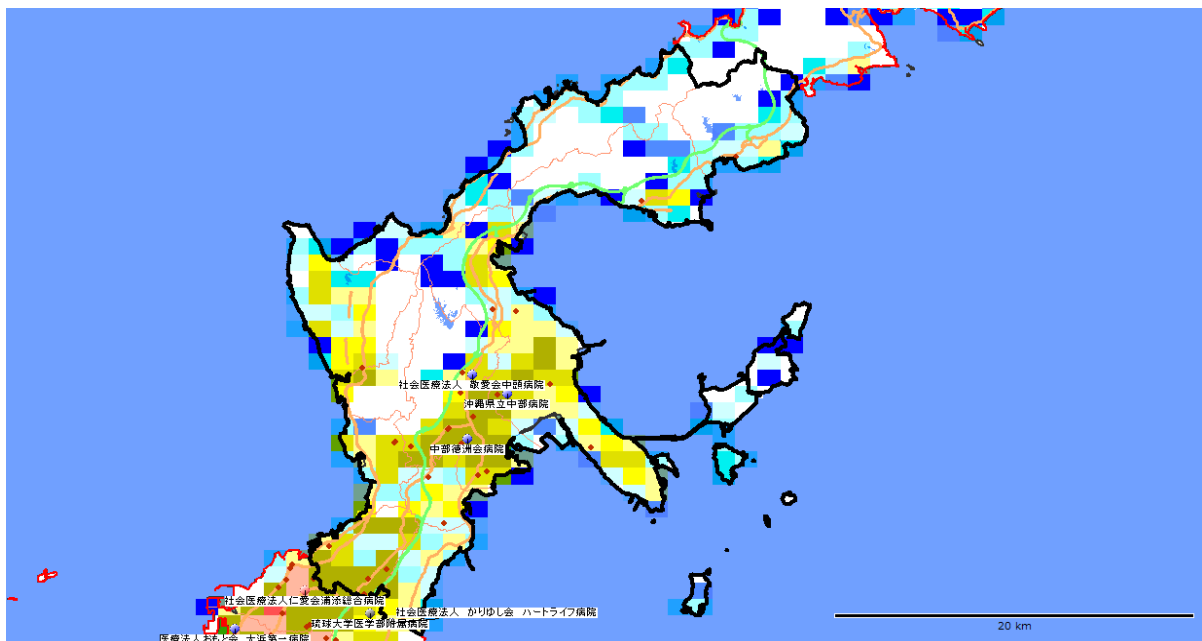


47-2. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村 [宜野湾市](#) [沖縄市](#) [うるま市](#) [恩納村](#)
[宜野座村](#) [金武町](#) [読谷村](#) [嘉手納町](#)
[北谷町](#) [北中城村](#) [中城村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

(中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中部(宜野湾市)は、総人口約499千人(2015年)、面積368km²、人口密度は1,356人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中部の総人口は2025年に522千人へと増加し(2015年比+5%)、2040年に528千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて63千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には85千人へと増加する(2025年比+35%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は288千円(偏差値35)、介護給付費は293千円(偏差値61)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数は0.97、一人当たり慢性期医療密度指数は1.81で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数47、診療所医師数39)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の中頭病院(Ⅲ群)、1000例以上の沖縄県立中部病院(Ⅲ群・救命)、中部徳洲会病院(Ⅲ群)、ハートライフ病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値62と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は33で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,373人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,879床(偏差値48)、高齢者住宅等が1,494床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,543人(75歳以上1,000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム41、軽費ホーム51、グループホーム39、サ高住55である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、514人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-39%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(中部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年464,371人が、2015年に499,000人と7%増加し、2025年の人口が521,685人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて14%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

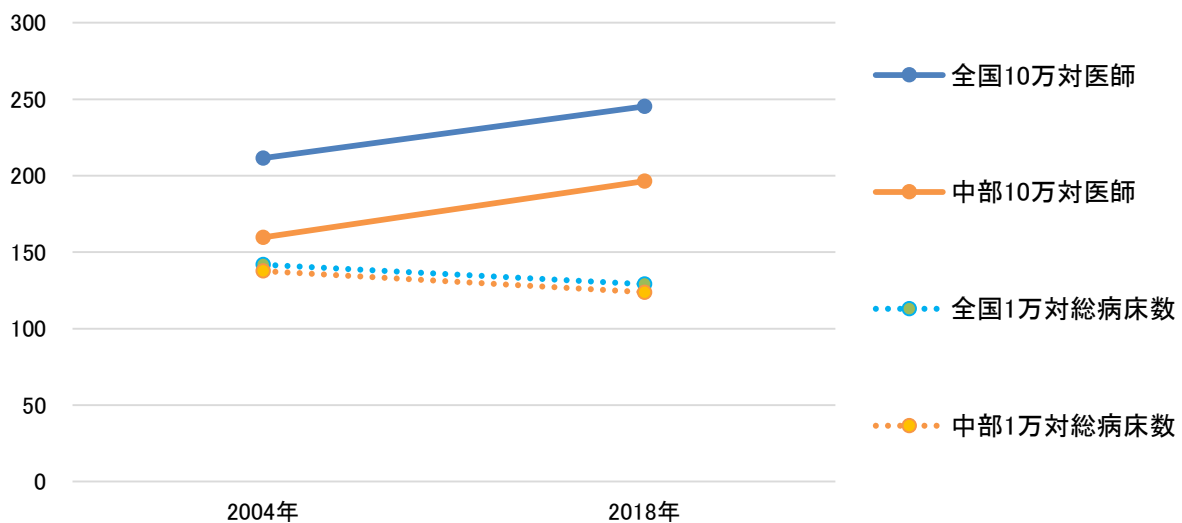
2004年の病院数が29(人口10万人当たり6.2病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2018年に29(人口10万人当たり5.8病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が194(人口10万人当たり42診療所(全国平均76)偏差値33)であったが、2018年に239(人口10万人当たり48診療所(全国平均80)偏差値33)と、45診療所が増加した。

2004年の総病床数が6,393床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2018年に6,179床(人口1万人当たり124(全国平均129)偏差値49)と、214床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

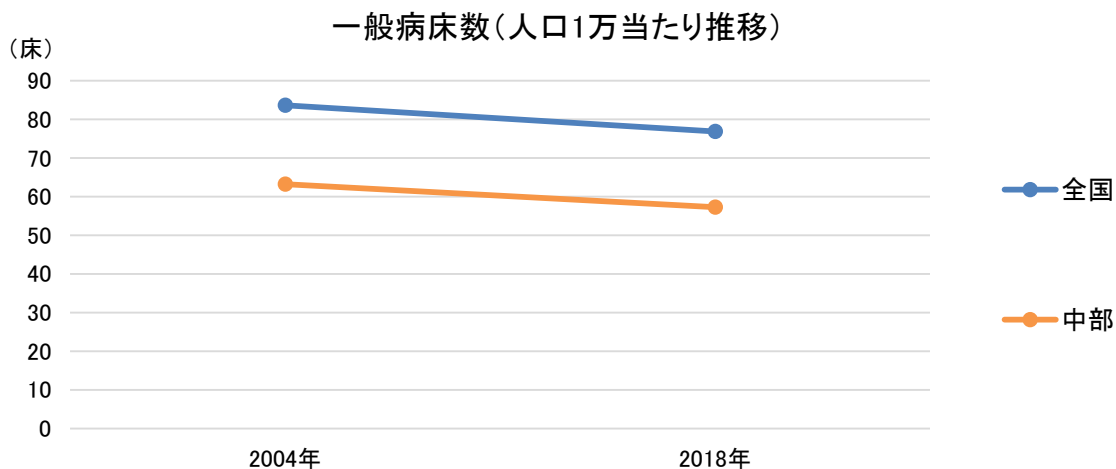
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が742人(人口10万人当たり160人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に980人(人口10万人当たり196人(全国平均245人)偏差値45)と、238人の増加、率にして32%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



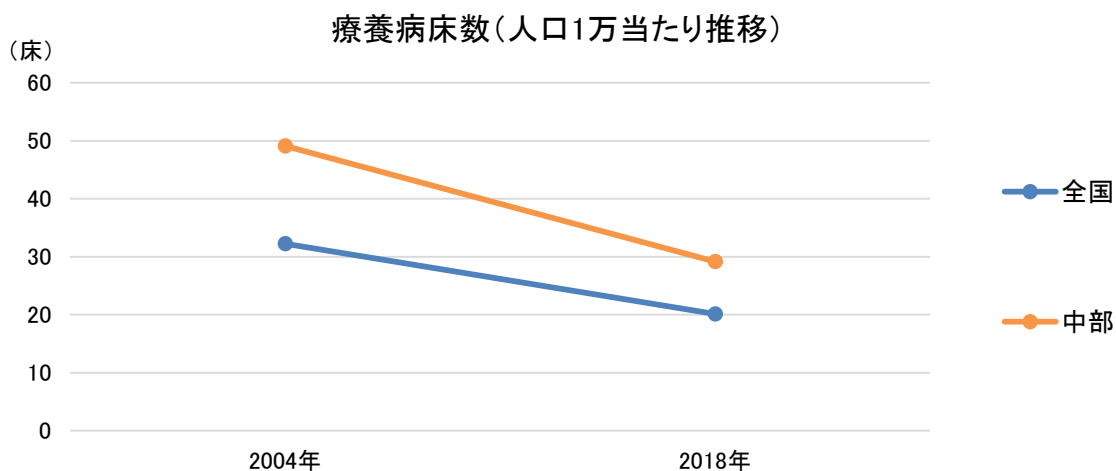
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,938床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2018年に2,858床(人口1万人当たり57(全国平均77)偏差値42)と、80床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



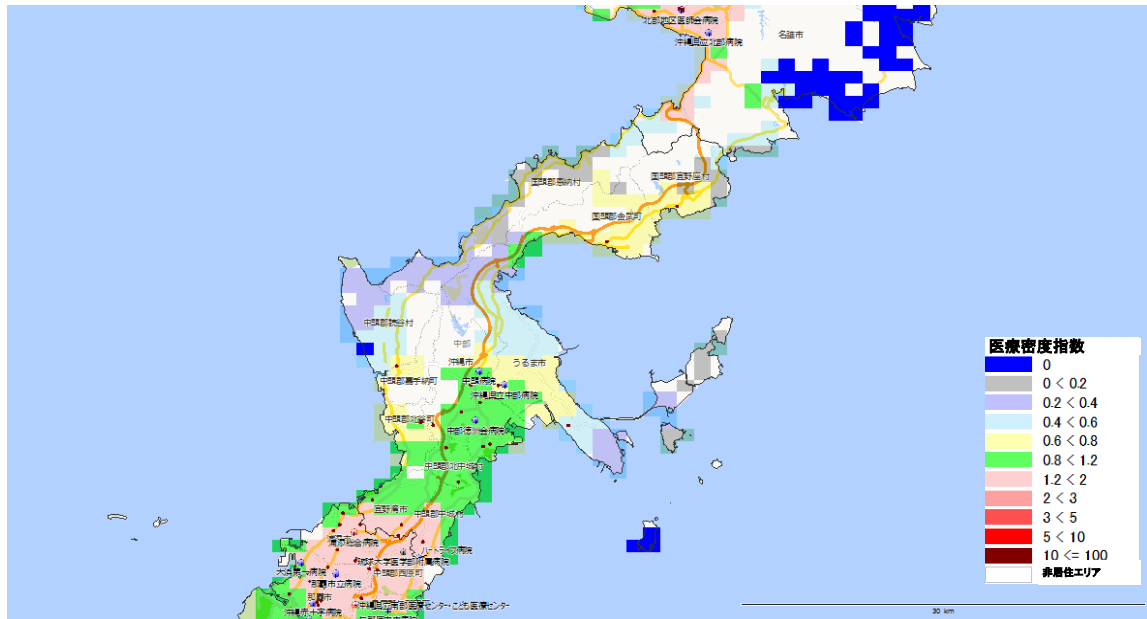
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,468床(75歳以上1,000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2018年に1,413床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均20)偏差値58)と、55床の減少、率にして4%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



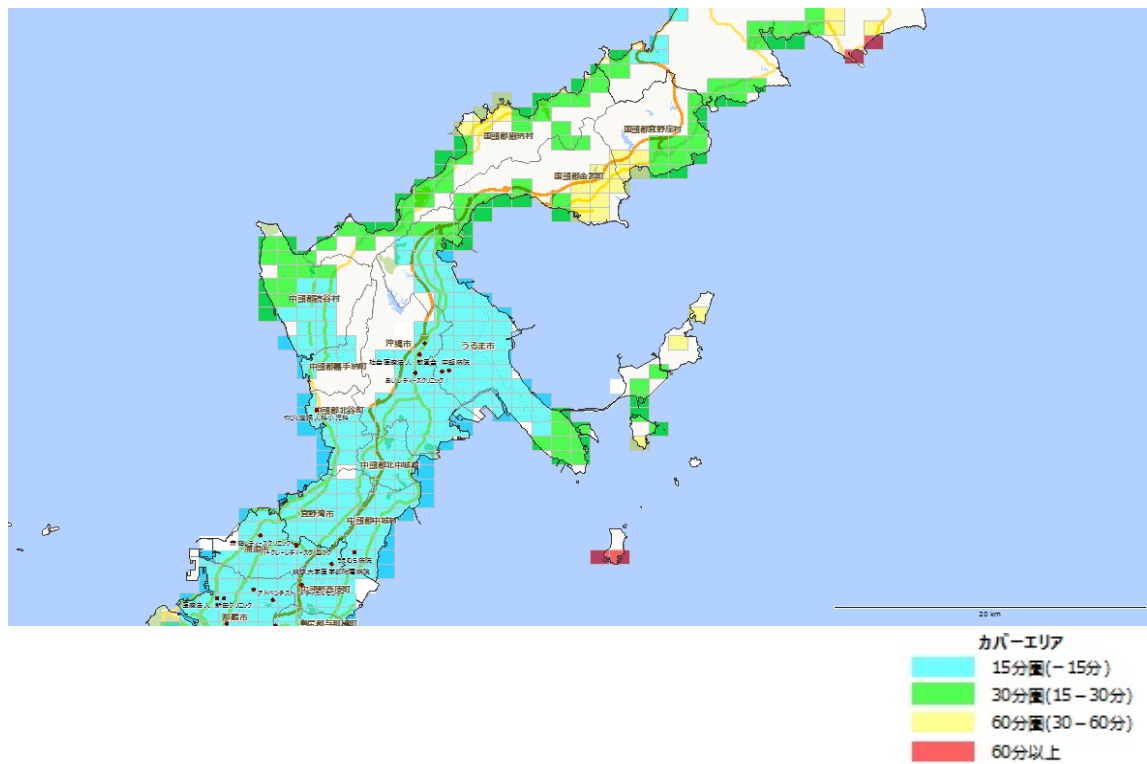
(中部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表47-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

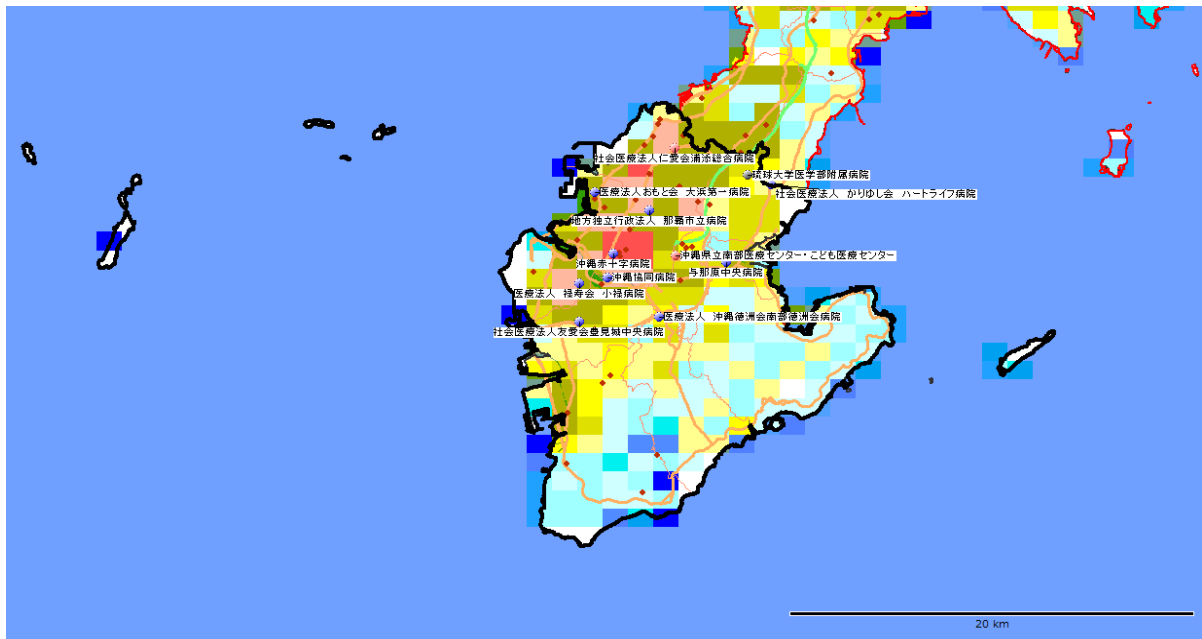


47-3. なんぶ南部医療圏

構成市区町村	那覇市	浦添市	糸満市	豊見城市
	南城市	西原町	与那原町	南風原町
	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村
	南大東村	北大東村	久米島町	八重瀬町

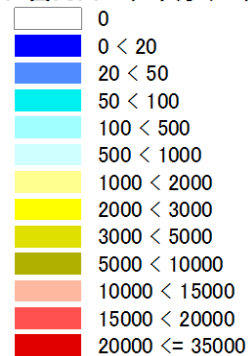
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南部(那覇市)は、総人口約727千人(2015年)、面積389km²、人口密度は1,871人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に744千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に733千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の71千人が、2025年にかけて92千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には122千人へと増加する(2025年比+33%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は337千円(偏差値46)、介護給付費は294千円(偏差値62)であり、医療費はやや低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数は0.74で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が55(病院医師数57、診療所医師数49)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の豊見城中央病院(Ⅲ群)、浦添総合病院(Ⅱ群・救命)、琉球大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の沖縄県立南部医療センター(Ⅲ群・救命)、沖縄協同病院(Ⅲ群)、那覇市立病院(Ⅲ群)、500例以上の沖縄赤十字病院(Ⅲ群)、南部徳洲会病院(Ⅲ群)、大浜第一病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,485人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,882床(偏差値44)、高齢者住宅等が2,603床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,405人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム46、軽費ホーム50、グループホーム38、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、551人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-44%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年688,706人が、2015年に727,337人と6%増加し、2025年の人口が743,849人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

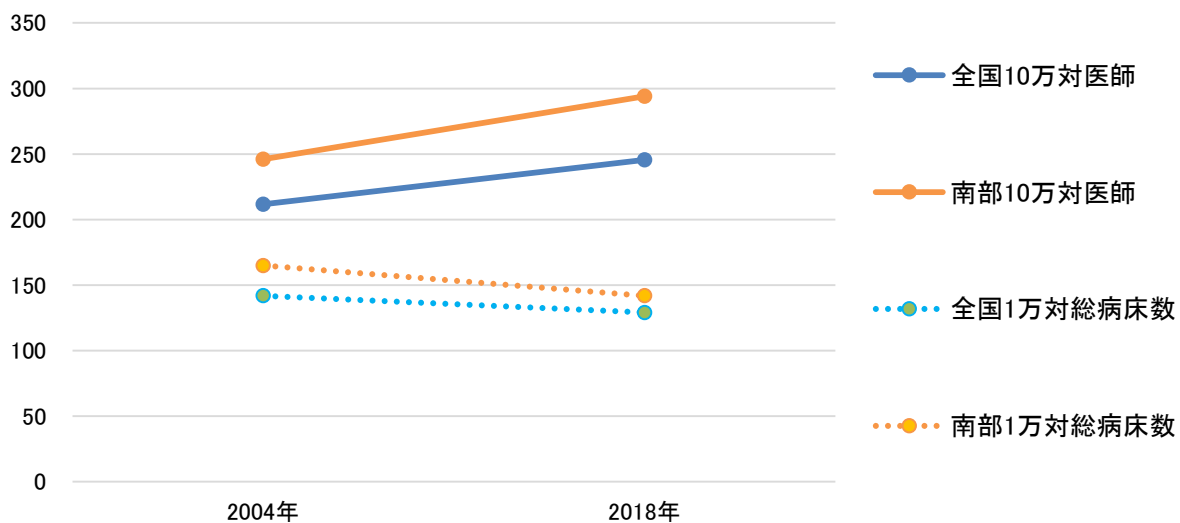
2004年の病院数が50(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2018年に47(人口10万人当たり6.5病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が423(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2018年に518(人口10万人当たり71診療所(全国平均80)偏差値45)と、95診療所が増加した。

2004年の総病床数が11,360床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2018年に10,320床(人口1万人当たり142(全国平均129)偏差値52)と、1,040床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

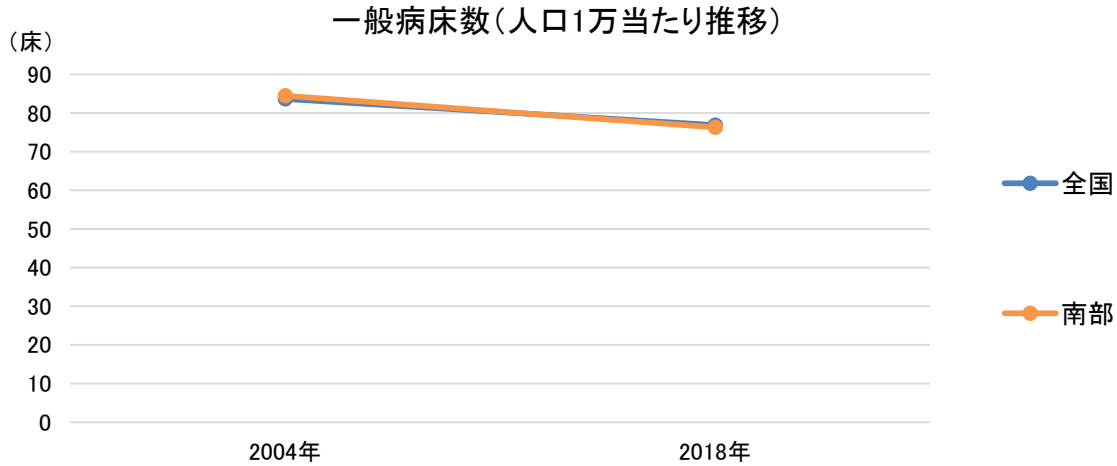
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,695人(人口10万人当たり246人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2018年に2,139人(人口10万人当たり294人(全国平均245人)偏差値55)と、444人の増加、率にして26%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



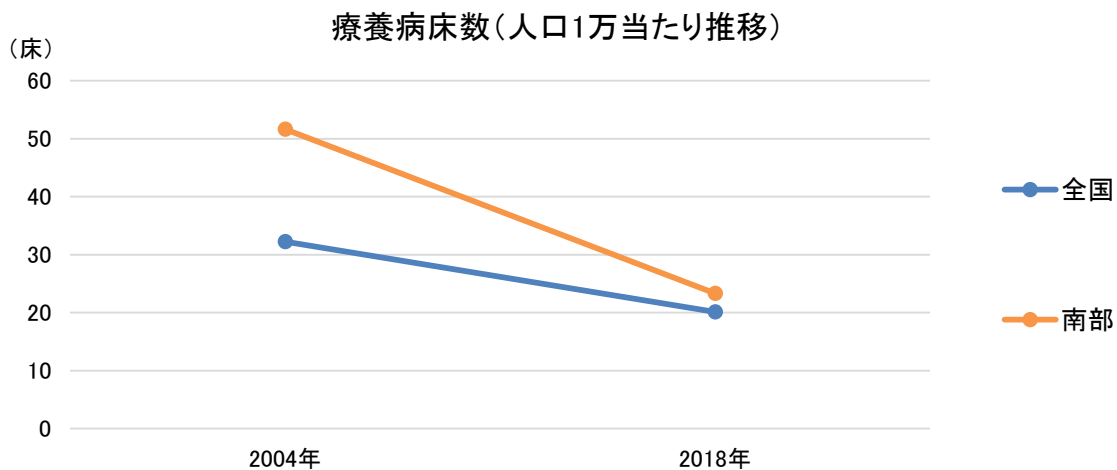
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,820床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値50)であったが、2018年に5,551床(人口1万人当たり76(全国平均77)偏差値50)と、269床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



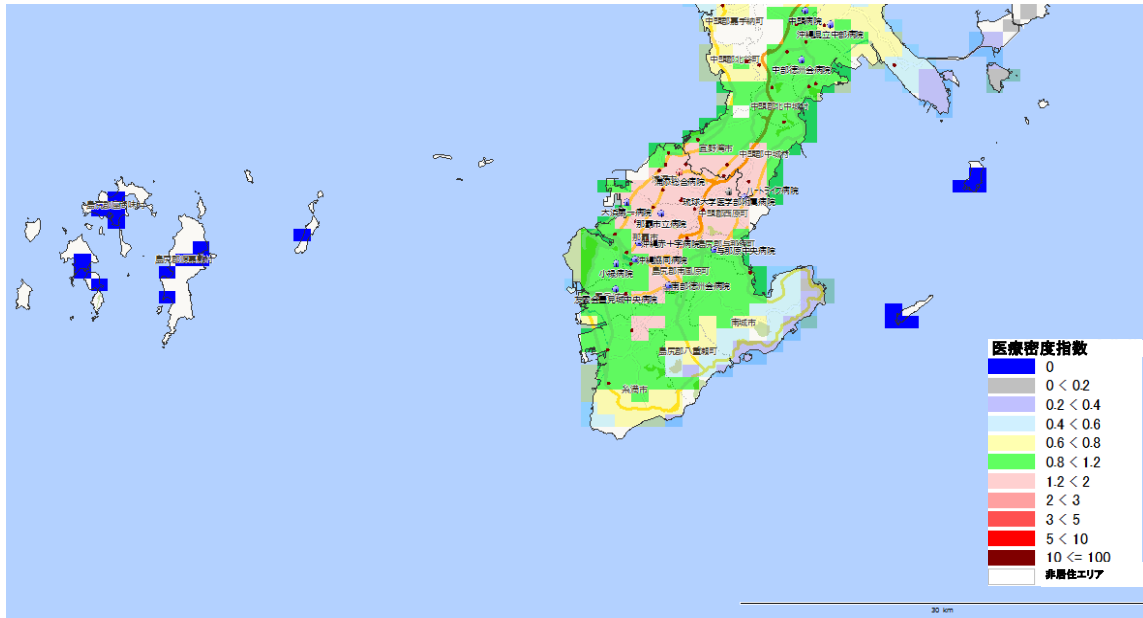
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,352床(75歳以上1,000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2018年に1,658床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均20)偏差値53)と、694床の減少、率にして30%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



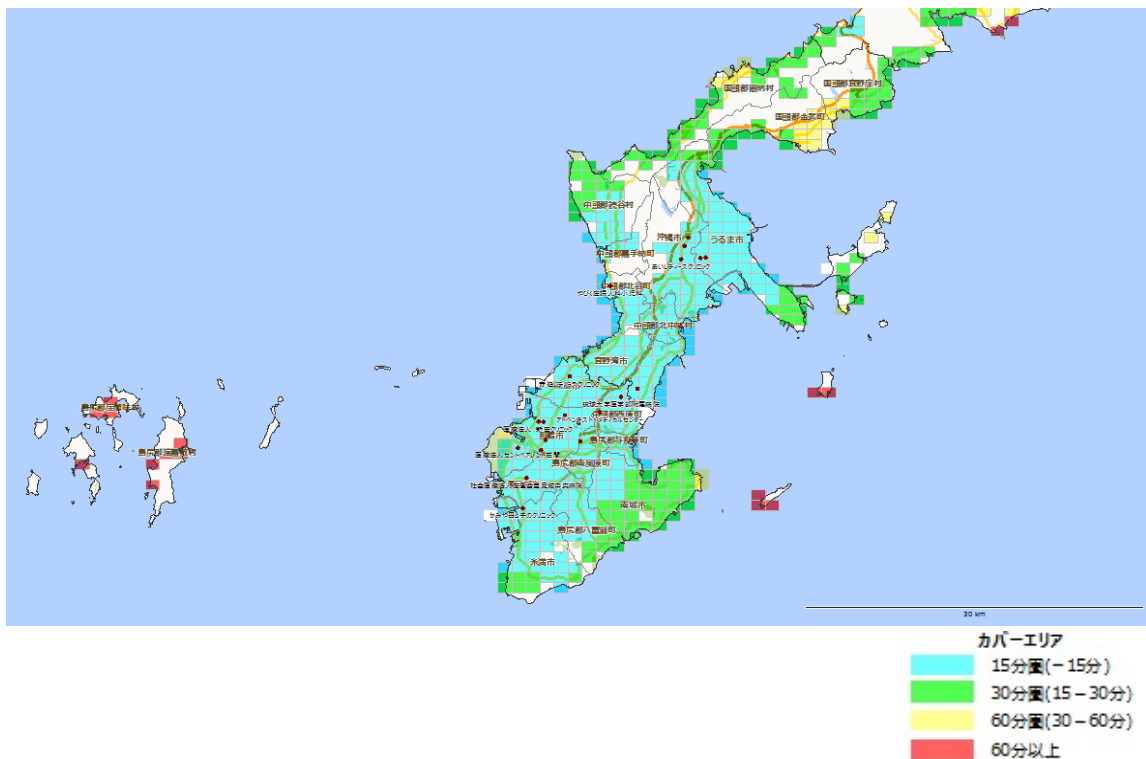
(南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表47-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

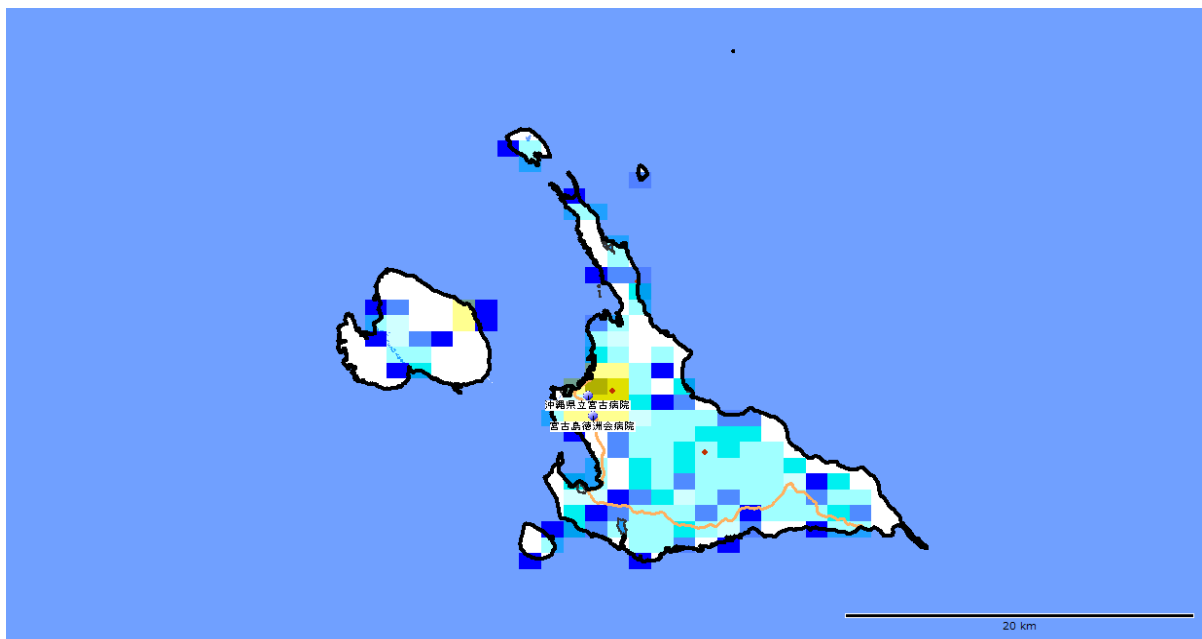


47-4. みやこ 宮古医療圏

構成市区町村 [宮古島市](#) [多良間村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(宮古医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宮古(宮古島市)は、総人口約52千人(2015年)、面積226km²、人口密度は232人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宮古の総人口は2025年に49千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に44千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の7千人が、2025年にかけて8千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には10千人へと増加する(2025年比+25%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宮古の一人当たり医療費(国保)は269千円(偏差値30)、介護給付費は379千円(偏差値86)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宮古の一人当たり急性期医療密度指数は1.39、一人当たり慢性期医療密度指数は1.39で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。宮古には、年間全身麻酔件数が500例以上の沖縄県立宮古病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宮古の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、588人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が420床(偏差値46)、高齢者住宅等が168床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、613人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム41、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、237人(75歳以上1,000人当たりの偏差値84)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(宮古医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

宮古医療圏の総人口は、2005年54,863人が、2015年に52,380人と5%減少し、2025年の人口が49,319人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

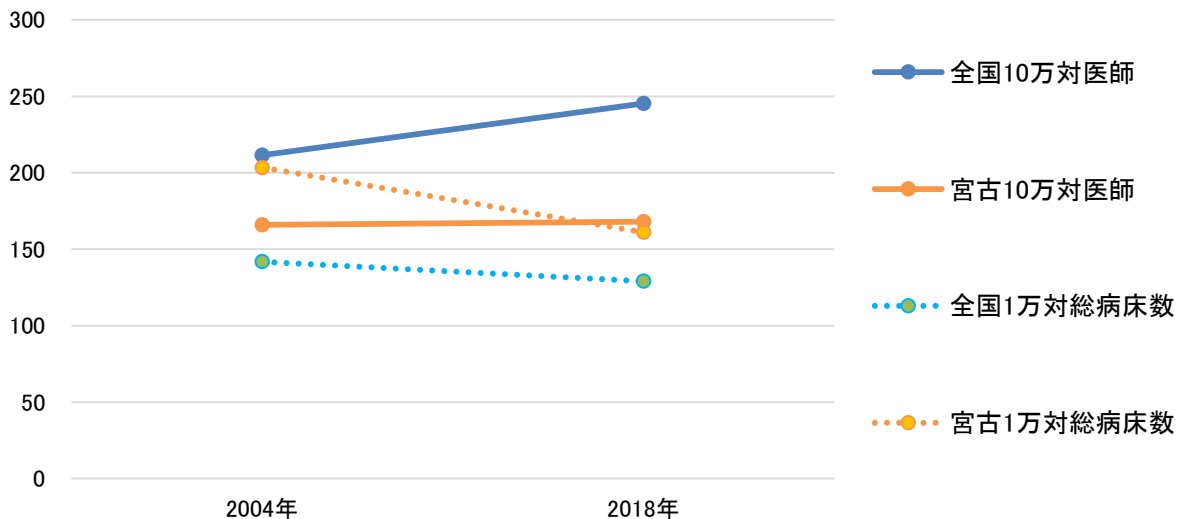
2004年の病院数が4(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2018年に4(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.6)偏差値53)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が35(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2018年に35(人口10万人当たり67診療所(全国平均80)偏差値43)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が1,116床(人口1万人当たり203(全国平均142)偏差値61)であったが、2018年に844床(人口1万人当たり161(全国平均129)偏差値56)と、272床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

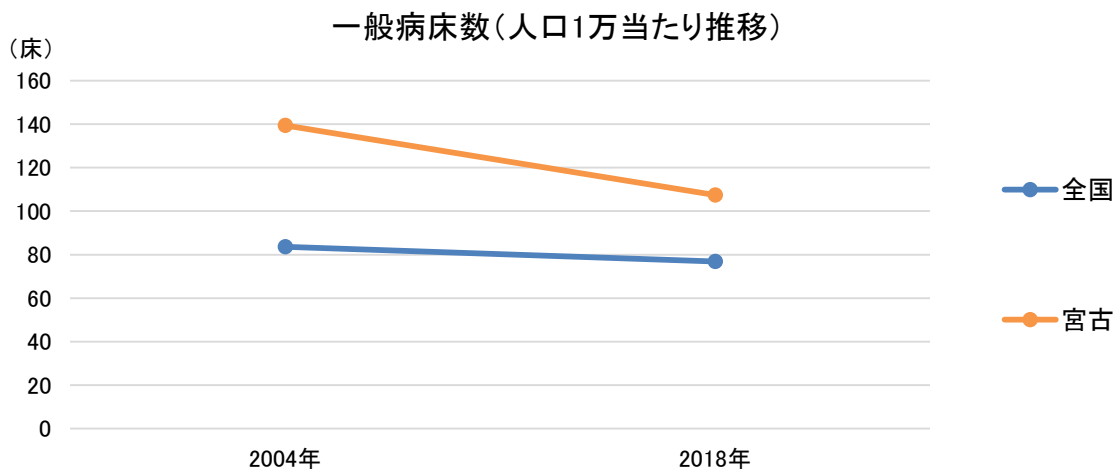
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が91人(人口10万人当たり166人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に88人(人口10万人当たり168人(全国平均245人)偏差値42)と、3人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



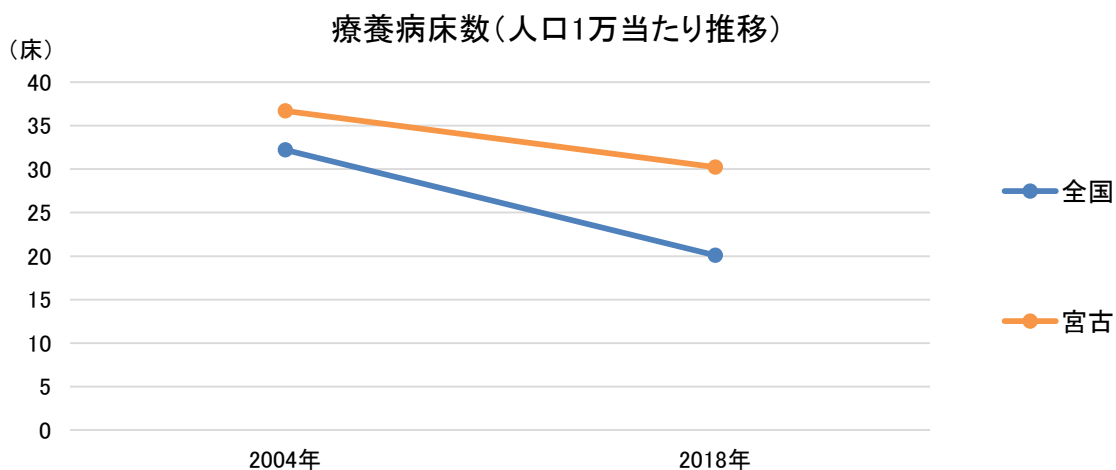
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が765床(人口1万人当たり139(全国平均84)偏差値70)であったが、2018年に563床(人口1万人当たり107(全国平均77)偏差値62)と、202床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



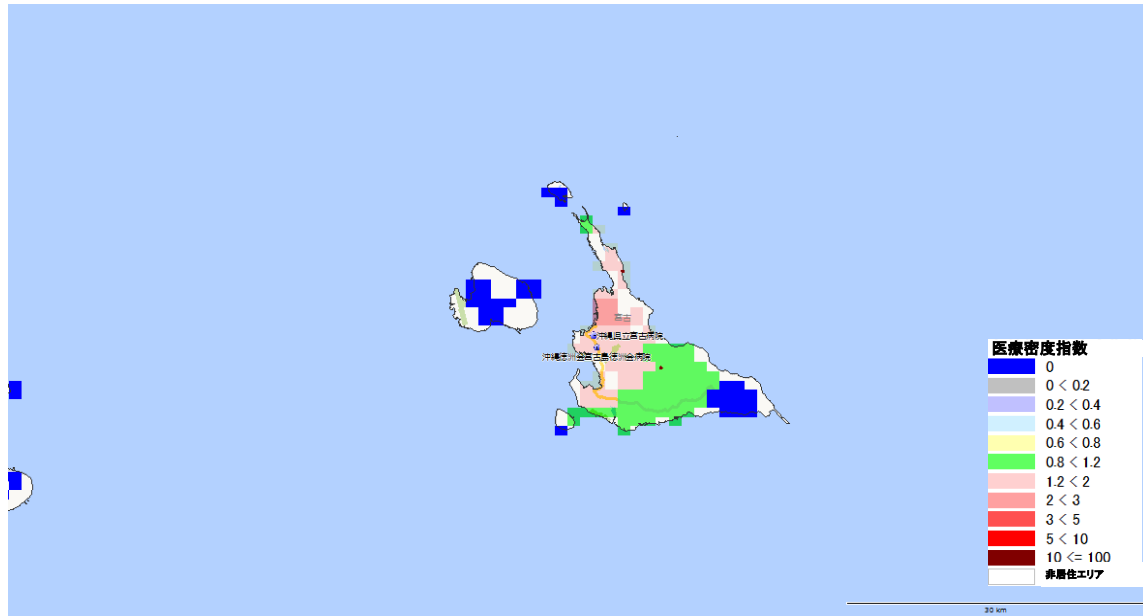
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が241床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2018年に226床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均20)偏差値59)と、15床の減少、率にして6%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



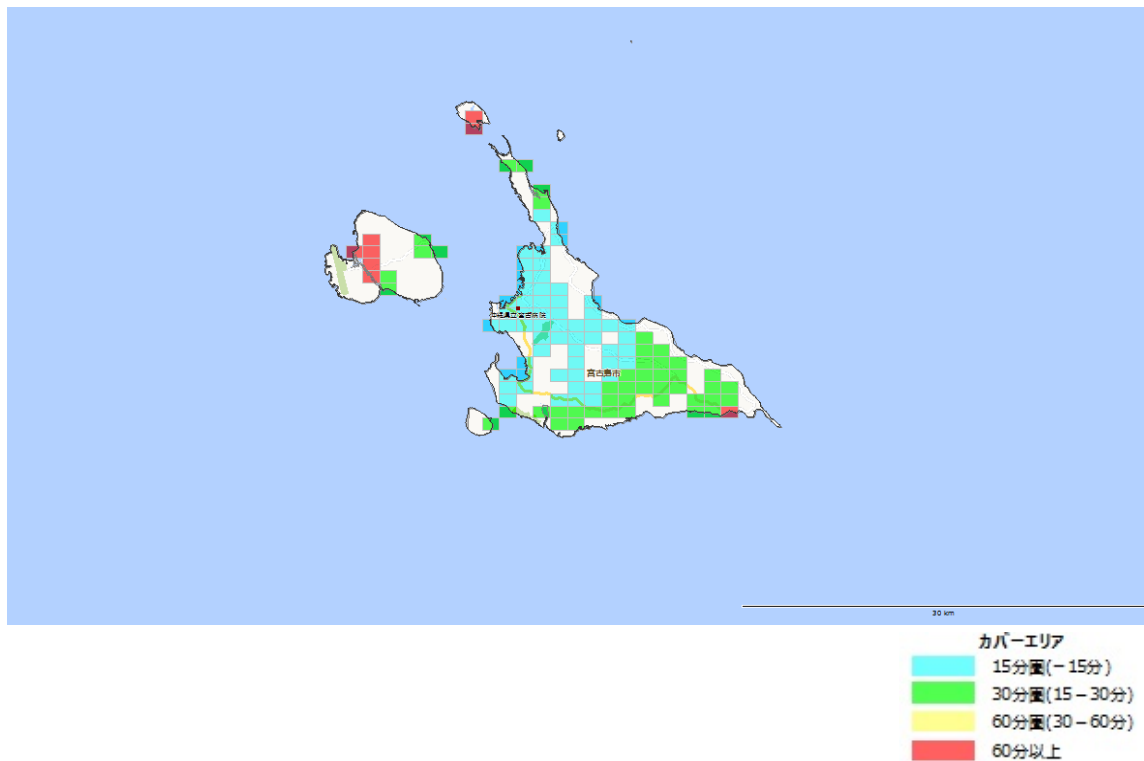
(宮古医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表47-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

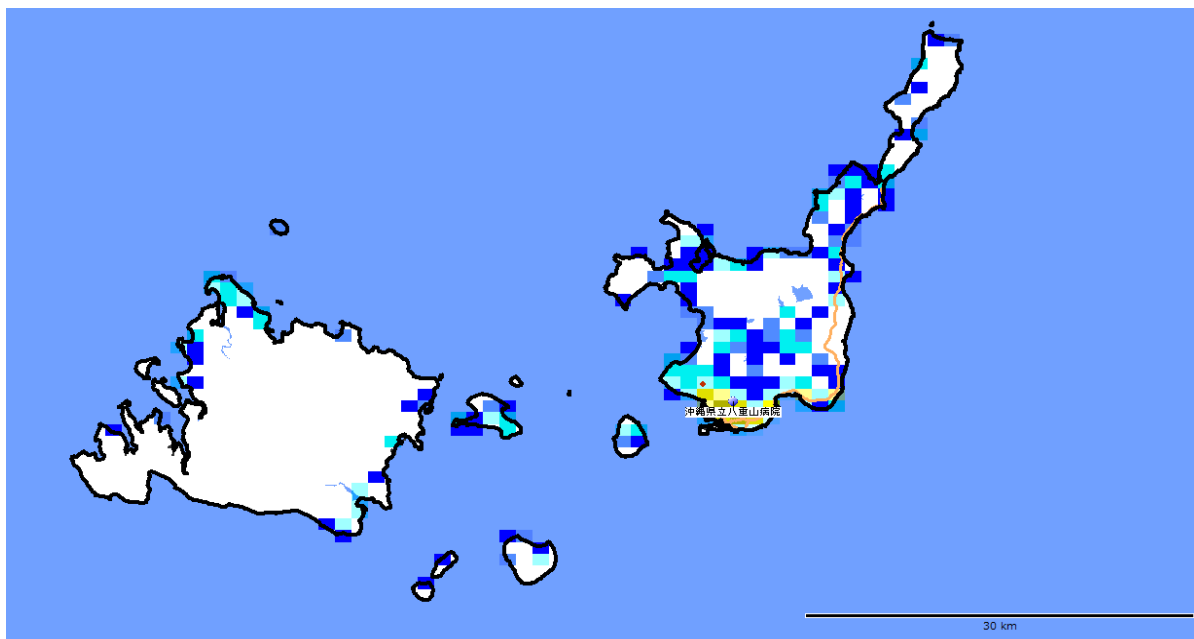


47-5. や え や ま 八重山医療圏

構成市区町村 [石垣市](#) [竹富町](#) [与那国町](#)

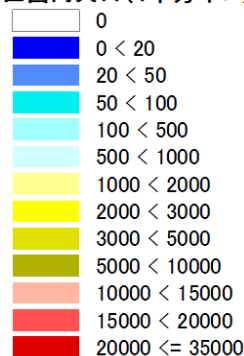
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(八重山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 八重山(石垣市)は、総人口約53千人(2015年)、面積593km²、人口密度は90人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 八重山の総人口は2025年に53千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に52千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて6千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には9千人へと増加する(2025年比+50%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 八重山の一人当たり医療費(国保)は268千円(偏差値30)、介護給付費は309千円(偏差値66)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 八重山の一人当たり急性期医療密度指数は0.67、一人当たり慢性期医療密度指数は0.67で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。八重山には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 八重山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、527人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が386床(偏差値59)、高齢者住宅等が141床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、534人(75歳以上1,000人当たりの偏差値69)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホーム83、グループホーム40、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値68と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、57人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(八重山医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

八重山医療圏の総人口は、2005年51,171人が、2015年に53,405人と4%増加し、2025年の人口が53,423人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

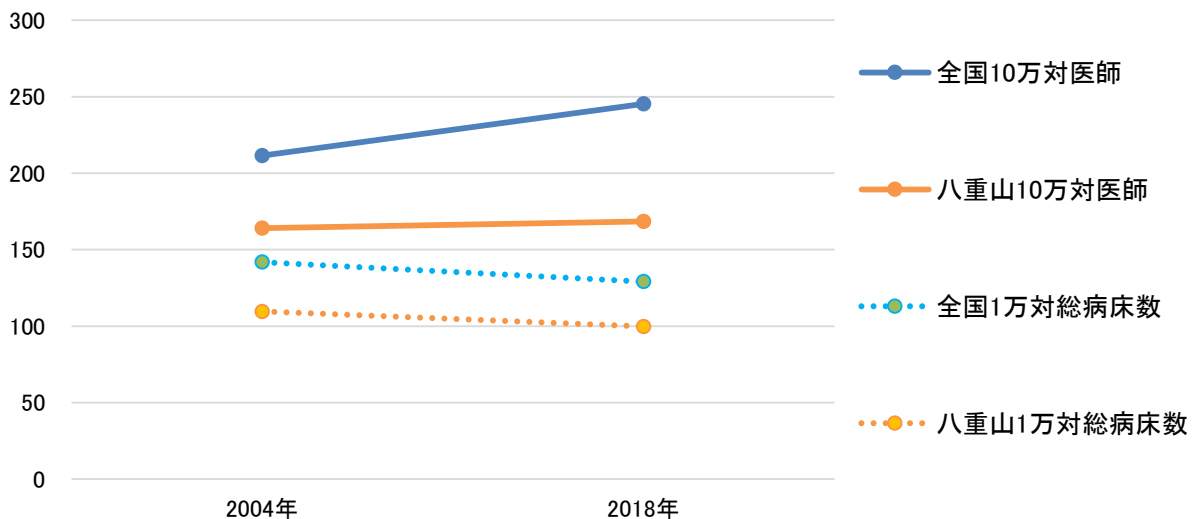
2004年の病院数が3(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2018年に3(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2018年に39(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、6診療所が増加した。

2004年の総病床数が561床(人口1万人当たり110(全国平均142)偏差値44)であったが、2018年に533床(人口1万人当たり100(全国平均129)偏差値44)と、28床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

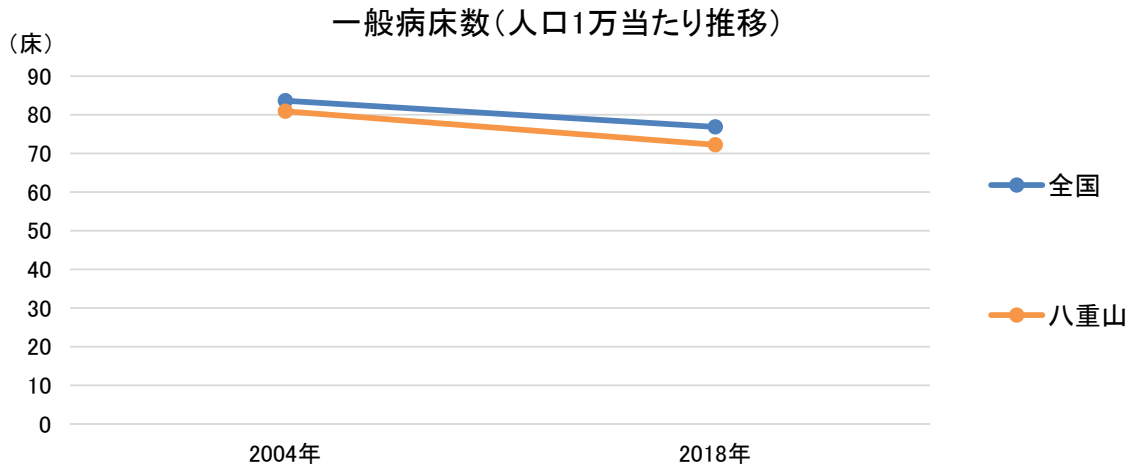
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が84人(人口10万人当たり164人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に90人(人口10万人当たり169人(全国平均245人)偏差値42)と、6人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



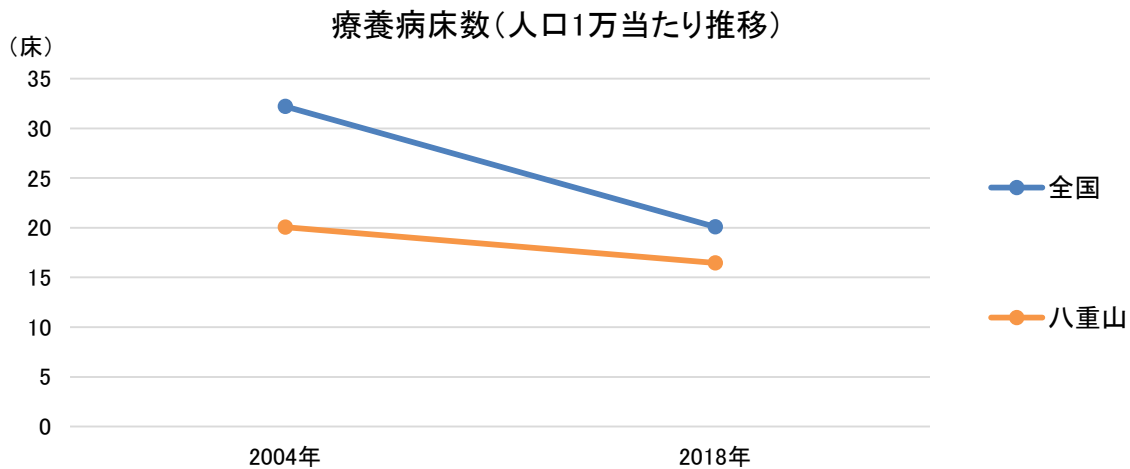
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が414床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2018年に386床(人口1万人当たり72(全国平均77)偏差値48)と、28床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



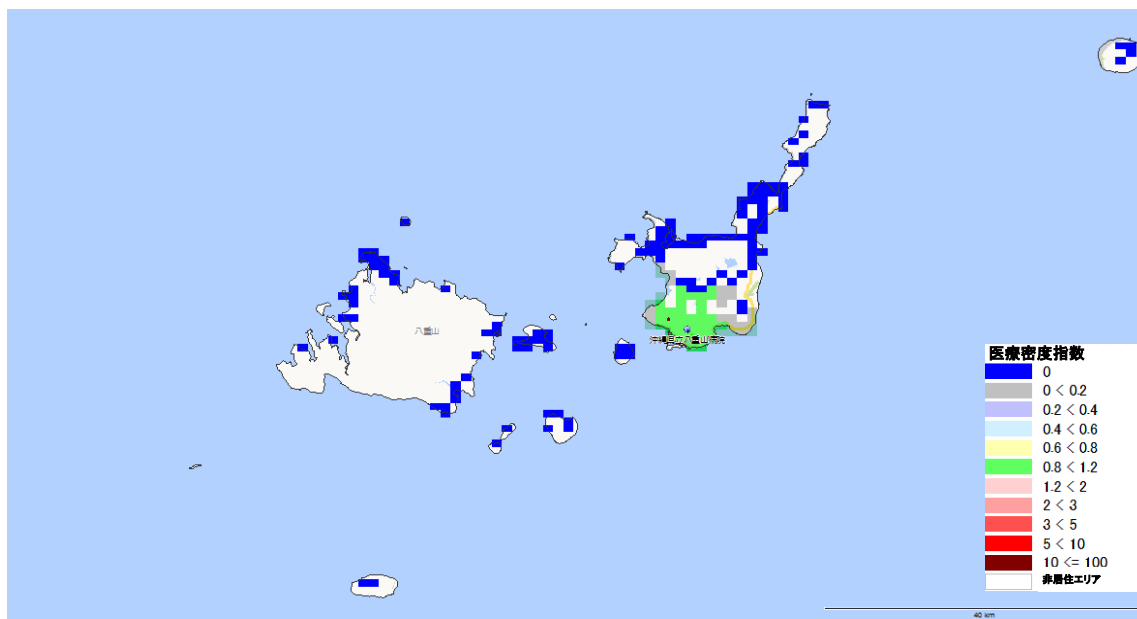
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が88床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に88床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値47)と、増減がなかった(全国平均12%の減少)。



(八重山医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表47-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

